

一、次の文章を読んで以下の問いに答えよ。

こんな自分はいじょうぶなんだろうか。毎日やたらに「だいいじょうぶ」を連発中だ。はじめて寄ったパン屋で。

「スタンプカードをおつくりしましょうか?」

「だいいじょうぶです」

コンサート会場の受付で。

「来月からメールでイベントのご案内を送ります」

「あ、だいいじょうぶです」

とにかく便利である。なにがどう「だいいじょうぶ」なのかまるで意味不明なのに、気分だけはちゃんと伝達される点がすごぶる【A 重宝】。また、「だいいじょうぶ」は明言を避ける方便である。すっきり拒否してもなんの①シシヨウもなくて、ここはひとつ②穏便にスルー。ようするに曖昧と逃げ腰の③シヨサンで、④テイネイなわけでもなんでもない。つねづね自分でもたいへん（a）。お断りのマナーとして、どうなのか。

さすがに（b）など思うのはこんなときだ。マラソンをいっしょに走ろうとしきりに誘われて、

「うーんまだだいいじょうぶ」

「まだ」とくつつけてみせる自分が（c）。もちろん「だいいじょうぶ」も依然意味不明。先延ばしのふりをして、じつは気が向かないのを明らかにするのが（d）だけである。

「ア」ア「とはっきり言え。自分に突っこみを入れるのだが、いったん相手を肯定してみせてから穏便なお断りに持ちこむ」だいいじょうぶ」の手軽さに勝てない。

とはいえ、断るのはほんとうに（e）。どちら様にもだいいじな主義主張や流儀がおありのところを、どうにか穏やかに。「だいいじょうぶ」は世間を渡る知恵でもあるわけだが、ただし、【B 編み目】を巧妙にかいくぐる確信犯の気配がある。料理屋で御飯のお代わりを⑤促されたとき、にっこりして「まだだいいじょうぶです」なども口走ってしまう。この場合は弱気というより、さらりとその場しのぎをしたいだけ。「十分いただきました」「おなかいっぱいです」、まともなお断りの方法はいろいろあるだろうに。

その場その場に見合う言葉をあてがうのを面倒くさがっているだけなんですわね、たぶん。【C □】を尽くして【ちゃんと応じればすむものを、やわらかなニュアンスの一語を発見して、【D すっかり横着になってしまった】。

つい先日、女ともだちと茶飲み話をしていると、彼女がぐちを言う。

『察してくれ』って言われるとむっとする。自分が【E 逃がっている】だけなのに、察しなかった相手を責める。あれはずるいよね。』

お説ごもつとも。「だいいじょうぶ」と断るのは「察してくれ」と相手に【イ】ことの変形なのだと思った。

（平松洋子「考えるマナー」）

問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直し、漢字はその読みを答えよ。

- ①シシヨウ ②穏便 ③シヨサン ④テイネイ ⑤促され

問二 空欄a～eに入る語として、最もふさわしいものを次の中から選び、それぞれ記号で答えよ。

- 1 こわい 2 情けない 3 難しい 4 いじましい 5 恨めしい 6 ずるい

問三 □アに入る言葉として、最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えよ。

- 1 少し考えてみる 2 ケガが、こわい 3 わたしは、いい
4 面白そうね 5 あなたにまかせ

問四 □イに入る言葉として、最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えよ。

- 1 命じる 2 甘える 3 怒る 4 ごまかす 5 頼む

問五 【A 重宝】と同じ意味で使われている語を本文中より抜き出して記せ。

問六 【B 編み目】について、「ここではどのようなことの比喩として用いられているか、本文中より十七字で抜き出して記せ。

問七 【C を尽くして】について、「思っていることを十分に言い表して」の意味となるように、に入る漢字一字を答えよ。

問八 【D すっかり横着になってしまった】について、その説明として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えよ。

- 1 ふさわしい返答を探すのをさぼっているということ
- 2 重宝な言葉を見つけたことに満足しているということ
- 3 断りの言葉がうまく言えないので困ったということ
- 4 相手から責められ、どうしたら良いのかわからないということ
- 5 同じ返事をするのに慣れてしまったということ

問九 【E 逃げている】について、何から「逃げている」のか、本文中より漢字二字の語で答えよ。

二、次の文章を読んで以下の問いに答えよ。

①キョウセイキョウセイされているわけではないのに、朱里の提案には退けられない何かがあった。学校をさぼりたいわけではない。しかし今、学校に行くことで何かを失う気がした。《1》

シューツと、【A ダストシュートにゴミが落ちていくような音】をさせて電車のドアが閉まった。ほんの一瞬だけれど、ホームは水族館みたいに静かになる。飛び出しそうだった心臓が、どくと大きな音を最後に静まった。ホームから同じ制服の女の子たちが綺麗に消えた。「やった、キョちゃん、これで一日一緒だね」朱里は嬉しそうに希代子の手を取り、(a) 飛び跳ねた。《2》

曖昧に笑いながら、本当の自分が乗るべき電車が学校めがけて細く消えていくのを、希代子は眺めている。二人は、その後すぐやってきた「急行片瀬江ノ島行き」に乗り込んだ。《3》

「なんかいいでしょ。この車内」朱里はとびきりの秘密を打ち明けるようにささやき、青いシートに腰を下ろし、身を数回弾ませた。希代子は、【B 電車の窓から見る見慣れた光景が、いつもの数倍のスピードで荒々しく消えていく】のを見つめている。知らない世界に連れ去られていく手応えを、(b) 感じた。《4》

降りるべき学校の最寄り駅を通り過ぎた。こんな風にいつものホームを急行から眺めたことなどない。売店も階段の位置も、違って見える。ホームにいる人の群れの中に、自分と同じ制服がいくつか目に飛び込んでくる。希代子は泣きそうになりながら、あつという間に遠ざかるそれらを食い入るように見つめた。自分がどれほど守られ、安心して生活していたのか、はつきりわかった。《5》

「ごめん。朱里」勇気を振り絞って朱里に告げた。「私、次の駅で降りる。【C 学校】に行くね。行かないと」必死な②ギョウソウで叫んだので、数人の客がこつちを見た。朱里は驚いたように希代子をしばらく見つめた後、明らかに面白くなさそうな顔になった。(c) 「わかった」とつぶやく。次の駅までの短い時間、朱里も希代子も無言だった。《6》

初めて降りるその駅は、半地下で、ひどく寒々としていた。希代子はほっとして、電車のドアが開くやいなやホームに飛び出す。「ごめんね」電車内の朱里に向き直ると媚びるように笑い、(d) 頭を下げた。《7》

【ア ドアが閉まる瞬間、朱里ははつきりとそう言った。【D 希代子は頬が熱くなるのを感じる】。ガラス越しの朱里は少しづつ遠ざかる。笑うでもなく、手を振るでもなく、ただ希代子を見ていた。希代子という人間を③ミスミスかすよな、冷静で賢い目で、(e) 希代子を見ていた。《8》

(柚木麻子「終点のあの子」)

問一 傍線部①～③と同じ漢字を使う熟語を次の中から選び、記号で答えよ。

①キョウセイ

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 端セイ | 2 知セイ | 3 落セイ | 4 禁セイ | 5 財セイ |
|-------|-------|-------|-------|-------|

②ギョウソウ

- 1 ソウ索 2 ソウ続 3 ソウ明 4 ソウ動 5 ソウ別

③ミス|かす

- 1 浸トウ 2 強トウ 3 殺トウ 4 均トウ 5 即トウ

問二 空欄 a ～ e に入る語として最もふさわしいものを次の中から選び、それぞれ記号で答えよ。

- 1 しぶしぶと 2 はつきりと 3 ずっと 4 ぺこつと
5 さらつと 6 ぴよんぴよんと

問三 [ア]に入る言葉として、最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えよ。

- 1 気にしないで 2 ありがとう 3 みんなによろしく
4 意気地なし 5 寂しいわ

問四 本文には、次の一文が抜けています。入るべき箇所を《 ー 》《 8 》の中から選び、記号で答えよ。

あの場所に戻る、なんとしてでも。

問五 [A] ダストシュートにゴミが落ちていくような音【 からわかる希代子の気持ちの説明として、最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えよ。

- 1 朱里に言われて学校へ行くのをやめた自分に対する怒り
2 同じ制服を着て電車に乗っていく女の子たちへの優越感
3 学校よりも朱里との友情を優先したことに対する満足
4 いつも乗っている学校行きの電車を見送ったことへの罪悪感
5 一緒に学校を休もうという朱里の提案への反発心

問六 [B] 電車の窓から見る見慣れた光景が、いつもの数倍のスピードで荒々しく消えていく【 ように感じている希代子の気持ちの説明として、最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えよ。

- 1 これから朱里と過ごす一日への期待
2 二人が一緒であることを喜ぶ朱里への共感
3 学校を休むこと気にもかけない朱里への憧れ
4 いつもと違う急行列車のスピードに対する驚き
5 普段の生活から離れていきつつあることへの不安

問七 [C] 学校【は、希代子にとってどのような場所ですか。」「場所」の形につながるように本文中より十四字の語句を抜き出して記せ。

問八 [D] 希代子は頬が熱くなるのを感じる【 からわかる希代子の気持ちの説明として、最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えよ。

- 1 約束を破った自分を許してくれた朱里への感謝
2 学校を休めない臆病な自分を責められたことへの恥ずかしさ
3 ひとりでも学校を休もうとする朱里の強さに対する羨望
4 何を言われても、最後は学校へ行くことを選んだ自分への誇らしさ
5 無理に誘っておきながら、謝っても許してくれない朱里への恨み

解答用紙
国語

受験番号
氏名
得点

※には記入
しないこと

一				
問七	問六	問三	問二	問一
			a	④ ①
問八		問四	b	され
問九		問五	c	
			d	
			e	
				⑤ ②
				③

※小計1

二							
問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
						a	①
						b	②
						c	③
						d	
						e	

場所

※小計2